

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、
ご使用下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の形式の確認を行ってください。
[適応車種] S2000 AP1, 2
3. アシストメーターキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行って下さい。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験の無い方のみでの組付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険です。また、保障の対象外になりますので絶対に行わないで下さい。
4. 本製品は電子機器です。衝撃および湿気には十分注意し取扱い下さい。また、分解や改造は絶対に行わないで下さい。
5. ハーネスやコネクタに引張るなど無理な力が加わると故障や破損の原因になりますのでご注意下さい。コネクタを取外す際は必ずツメを持ってから引き抜いて下さい。
6. 純正パーツの取付け・取り外しはサービスマニュアルに従い作業を行って下さい。
7. 本製品の加工や分解、組付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-TEC 商品事業部 営業1課

【営業時間 10:00~17:00 土日・祝日除く】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. 定期的にオイルや水漏れを点検し、取り付け状態を確認してください。損傷等の異常がある場合は速やかに補修を行ってください。
2. 走行中は安全の為、長時間凝視しないで下さい。前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。
3. 天候その他の条件によっては、アシストメータのガラス面が反射して見にくい場合があります。
4. アシストメータを取り付けることにより、前方の視認に影響を与える場合があります。運転には十分注意してください。
5. スイッチユニットの操作は必ず安全な場所で停車した状態で行って下さい。前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。

【構成部品表】

| No. | PARTS NAME. | QTY. | 1. | 2. | 3. | |
|-----|---------------------|------|-----|-----|-----|-----|
| 1. | メータフード | 1 | | | | |
| 2. | 両面テープ I | 1 | | | | |
| 3. | ウォーターテンプメータ | 1 | | | | |
| 4. | オイルテンプメータ | 1 | | | | |
| 5. | オイルプレッシャメータ | 1 | | | | |
| 6. | コントロールユニット | 1 | | | | |
| 7. | 温度センサ(水温、油温用) | 2 | | | | |
| 8. | 圧力センサ(油圧用) | 1 | | | | |
| 9. | 水温センサハーネス (2極桃) | 1 | | | | |
| 10. | 油温センサハーネス (2極茶) | 1 | | | | |
| 11. | 油圧センサハーネス (3極黒) | 1 | | | | |
| 12. | メータハーネス (4極白 0.25m) | 2 | | | | |
| 13. | メータハーネス (4極白 2.0m) | 1 | | | | |
| 14. | 電源ハーネス | 1 | | | | |
| 15. | オイルセンサアタッチメント | 1 | | | | |
| 16. | 水温センサアタッチメント | 1 | | | | |
| 17. | ホースクランプ | 2 | | | | |
| 18. | スイッチユニット | 1 | | | | |
| 19. | リングラバー | 3 | | | | |
| 20. | コントロールユニット取付けナット※ | 4 | | | | |
| 21. | コントロールユニット取付けボルト※ | 4 | | | | |
| 22. | エレクトロタップ | 4 | | | | |
| 23. | タイラップ (白) | 2 | | | | |
| 24. | 両面テープ II | 1 | | | | |
| 25. | ハーネスクリップ※ | 1 | | | | |
| 26. | コルゲートチューブ | 1 | | | | |
| 27. | タイラップ (黒150mm) | 15 | | | | |
| 28. | スポンジテープ (60×60) | 3 | | | | |
| 29. | 取付・取扱説明書 | 1 | | | | |
| 19. | 20. | 21. | 22. | 23. | 24. | 25. |
| | | | | | | |
| 26. | 27. | 28. | 29. | | | |

※本取扱説明書に従っての取付けの際は使用不要

【取付け時に用意していただくもの】

- ・シールテープ
- ・ビニールテープ
- ・エンジンオイル
- ・ロングライフクーラント
- ・コーキング剤
- ・アルミテープ
- ・イソプロピルアルコール

【必要工具】

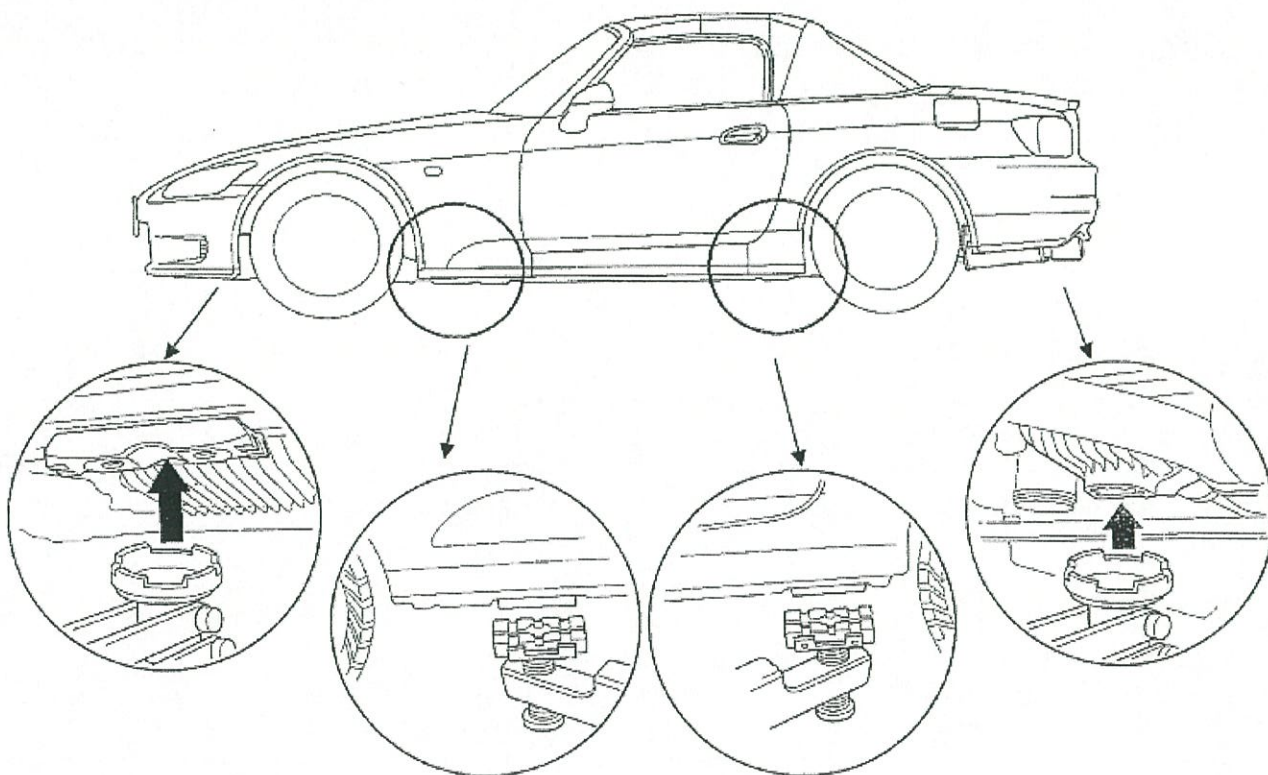
- ・ボックスレンチ
- ・オイルフィルタレンチ
- ・ドライバー (プラス・マイナス)
- ・カッターナイフ
- ・ドリル φ 3・φ 6・φ 8・φ 12・φ 15
- ・ニッパー
- ・プライヤー

I. 取付準備

《注意》・車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

①リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジトラックをあてがう。

②リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



注意

- ・指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意し作業を行うこと。
- ・ジャッキアップ時は、必ずリジトラックを使用すること。
- ・短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ジャッキアップしたままで、車両の下には入らないこと。
- ・フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。

II. 水温センサの取り付け

※純正パーツの取り外しはサービスマニュアルを参照すること。

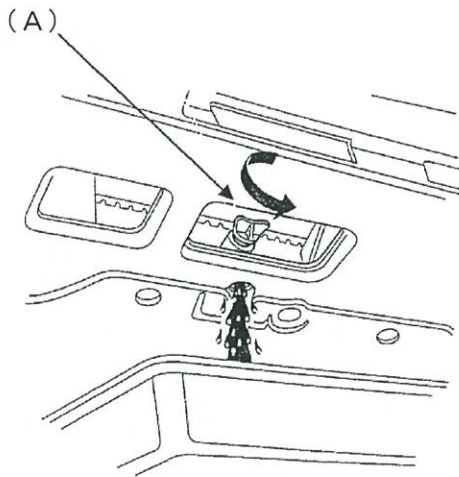
※エンジン停止直後は各部が高温になっている為、作業は行わないで下さい。火傷を負う恐れがあり大変危険です。

①エンジンが冷えているのを確認し、ラジエータキャップを取り外す。

※水温が高い時にキャップを外すと、冷却水に圧力が掛かっているため、冷却水が吹き出し危険です。水温が下がってから静かに開けること。

※火傷に注意すること。

②ドレンコック (A) を弛め、冷却水を抜き取る。

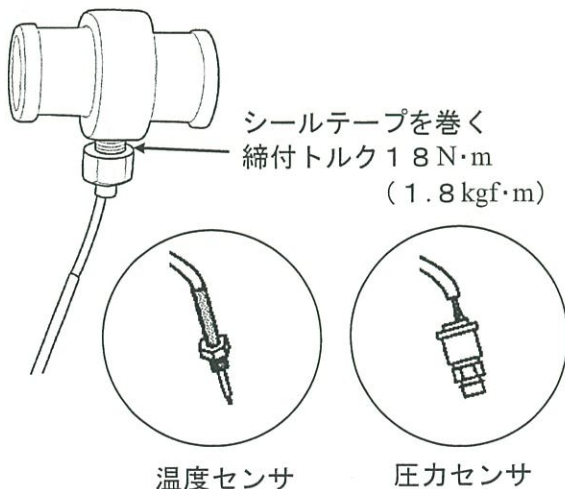


※冷却水を再利用する時は、清潔な容器に回収しておくこと。

③温度センサのネジ部にシールテープを2巻き程度巻き付け、水温センサアタッチメントに規定トルクで締め付ける。

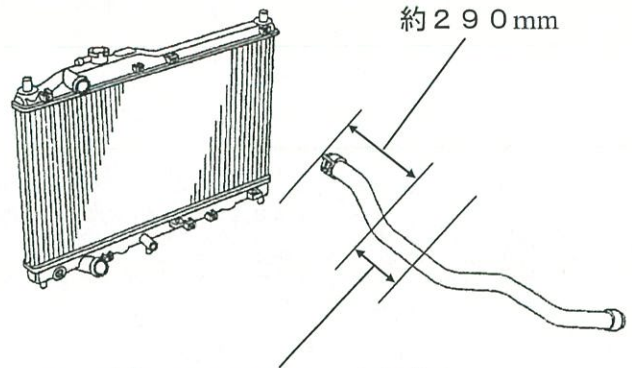
※締め付けトルク $18\text{N}\cdot\text{m}$ ($1.8\text{Kgf}\cdot\text{m}$)

※温度センサと圧力センサを間違えて取り付けないこと。



④ラジエータのアップホースのストレート部分をカット (約 15mm) する。

※ホースは垂直にカットすること。

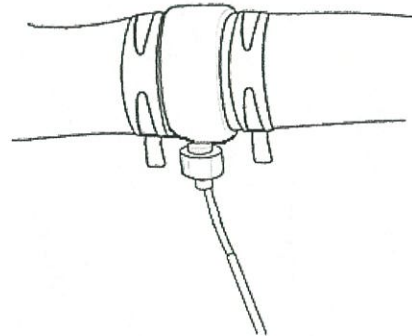


アップホースのストレート部分を約 15mm カットする

⑤付属のホースクランプ2個をカットしたアップホースの両側に通し、水温センサアタッチメントを下図のように取り付ける。

※エア溜まりを防ぐ為、温度センサを水平から下方方向に向けて取り付けすること。

水温センサアタッチメント



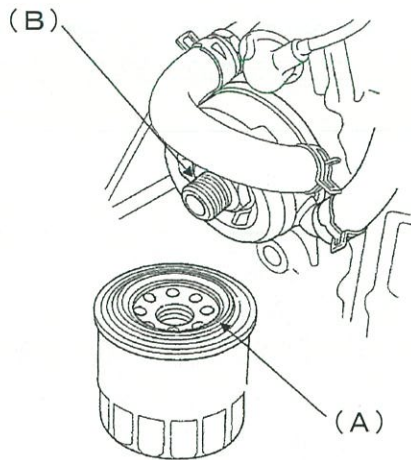
温度センサを水平から下方方向に向けて取り付け

⑥冷却水のドレンコック (A) を締め付ける。

⑦ラジエータキャップを取り付ける。

III. 油温・油圧センサの取り付け

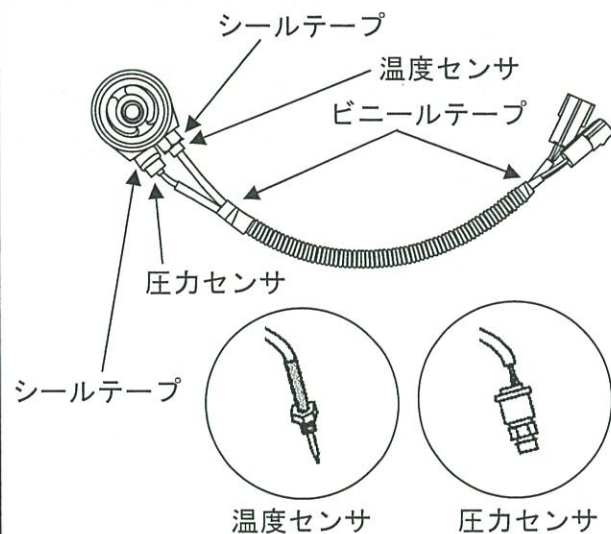
① オイルフィルタレンチでオイルフィルタを取り外す。



※ オイルフィルタの着座部 (A)、ネジ部 (B) およびパッキンの打痕、損傷を点検する。
 ※ オイルフィルタ内のオイルが出てくるので、注意すること。

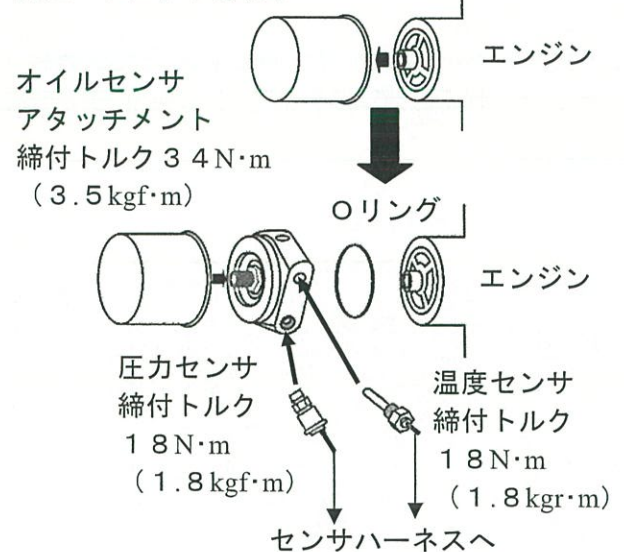
② 温度センサと圧力センサのネジ部にシールテープを2巻き程度巻き付け、オイルセンサアタッチメントに規定トルクで締め付ける。
 ※ 締め付けトルク $1.8 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.8 \text{ kgf}\cdot\text{m}$)
 ※ センサの先端がオイルアタッチメントに接触しないようにすること。

③ コルゲートチューブを200mm程度切り、センサのハーネスに被せ、両端をビニールテープで固定する。



④ オイルセンサアタッチメントを取り付け、規定トルクで締め付ける。
 ※ オリングにオイルを塗布すること。
 ※ センサ取り付け時、ハーネスのねじれに注意すること。

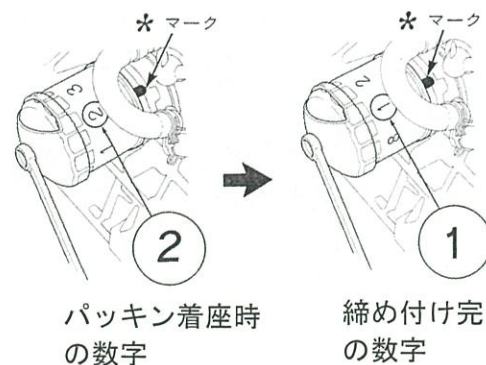
純正エレメントを外す



⑤ オイルフィルタを取り付ける。
 ※ 締め付けはパッキン着座後、オイルフィルタレンチを使用し、規定回転角または規定トルクで増し締めする。
 規定回転角 $7/8$ 回転
 規定トルク $2.2 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.2 \text{ kgf}\cdot\text{m}$)

※ 規定回転角での締め付け方法例

オイルフィルタのパッキンが着座したら、オイルフィルタの数字に合わせてオイルクーラにマークをする。



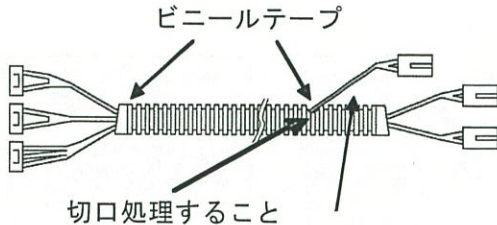
※ オイルフィルタの周囲には、図のように円周を8等分した1から8までの数字が印刷されている。
 ※ パッキンが着座した時にマークした位置より7つ分右に回転し締め付ける。

| | | | | | | | | |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| パッキン着座時の数字 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 7/8回転締め付け完了時の数字 | 8 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

IV. ハーネスの引き込み(推奨位置)

①バッテリーのマイナス端子の接続を外す。
 ※メモリ機能の記憶が消去される場合があります。

②センサハーネスを3本まとめ、コルゲートチューブで被い、両端部および150~200mm間隔でビニールテープを巻く。



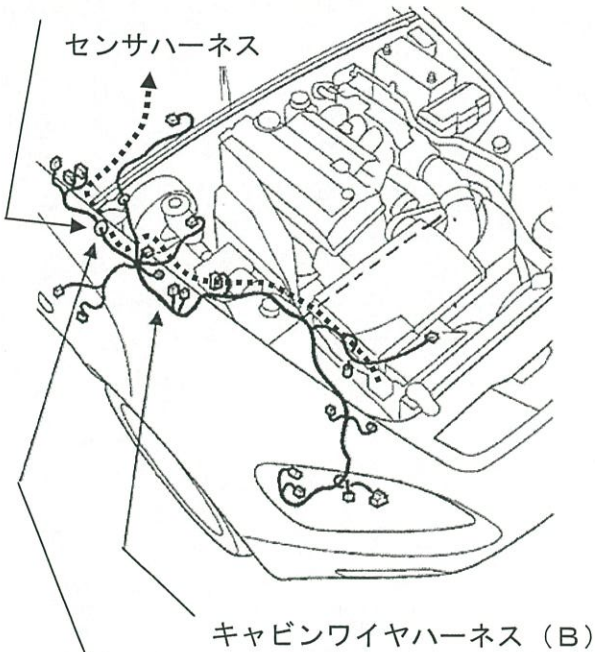
水温センサハーネスを温度(水温)センサまで出しておく

③グロメット(A)に切り込みを入れ、②で製作したハーネスを車内に引き込む。

※コントロールユニットを推奨位置以外への設置の場合、場所によって図に従ってハーネスを引き込むとハーネスの長さが不足する為注意すること。

※他のハーネスを傷つけないよう、また引き込み時にセンサハーネスのカプラ破損に十分に注意すること。

グロメット(A)



車内に入る手前でセンサハーネスを一度下方向に弛ませること

④キャビンワイヤハーネス(B)にタイラップで共締めしていく。

※雨水等の浸入を防ぐ為、車内に入る手前で一度下方向に弛ませること。

※コルゲートチューブの割面を下にすること。

⑤温度(水温)センサに水温センサハーネスを接続し、エアクリナーボックス裏のワイヤハーネス、キャビンワイヤハーネス(B)に沿わせ、タイラップにて固定する。
 ※ハーネスに無理なテンションが掛からないよう弛ませること。

⑥油圧・油温センサハーネスをキャビンワイヤハーネス(B)に沿わせ、タイラップにて固定する。

※ハーネスに無理なテンションが掛からないよう弛ませること。

⑦各センサカプラを接続し、スポンジテープをカプラ周囲に巻きつける。

※センサとセンサハーネスを接続する際は間違いに注意のこと。

⑧エンジンルーム側より、センサハーネスをタイラップでしっかり固定する。

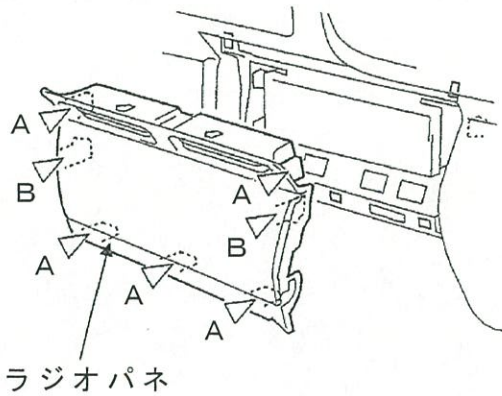
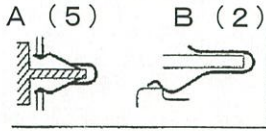
※角や回転部分との接触や、噛み込みがないことを確認すること。

⑨グロメット部分から雨水等が入らないようコーキング剤で防水処理をする。

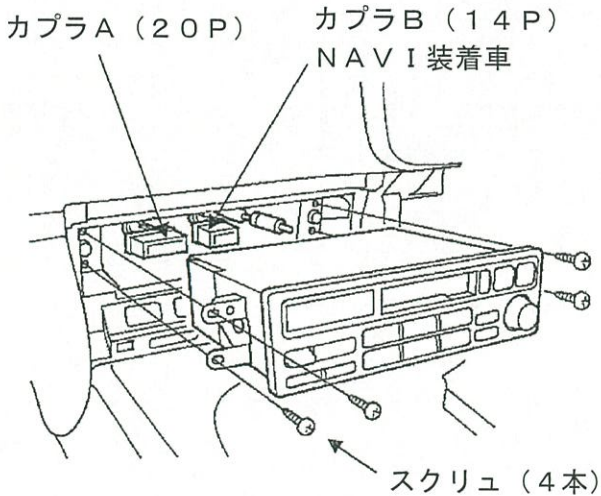
V. 車内への設置 (コントロールユニットは推奨位置)

※コントロールユニットを推奨位置以外に設置の場合は①の作業は行わない為注意すること。
 ※推奨位置以外に取り付ける場合はハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取付けること。

①クリップA、Bを外し、ラジオパネルを取り外す。



②スクリュ4本を外し、オーディオを手前に引き出し、オーディオからカプラA、Bを外す。



③カプラA (20P) に電源ハーネスを取り付ける。

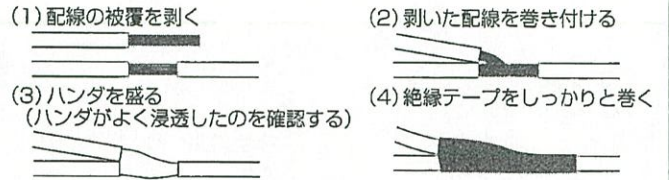
ハーネス側から見た図

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |

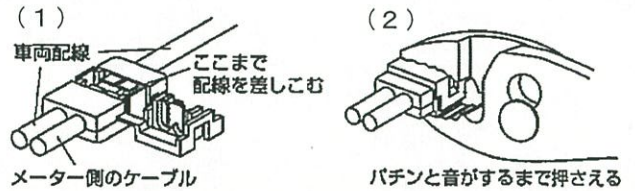
車両ハーネスカプラ

| | | |
|----|-----|----------------|
| 2 | 白/赤 | ACC電源線 (橙線と接続) |
| 9 | 赤/黒 | イルミ線 (白線と接続) |
| 10 | 白/青 | 常時電源線 (赤線と接続) |
| 20 | 黒 | GND線 (黒線と接続) |

※ハンダ付けのやり方

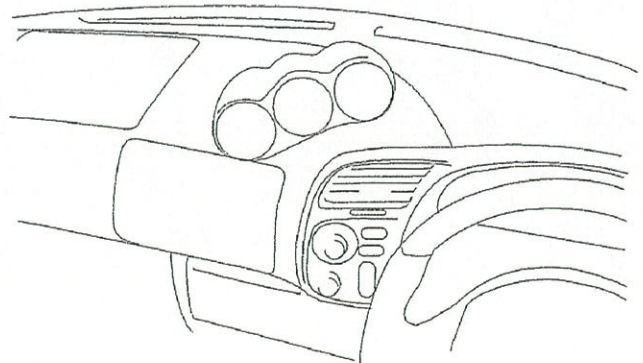


※エレクトロタップの使い方



※ハンダ付けの際は火傷に注意すること。
 ※エレクトロタップを使用する場合は、確実に接続し、スペースに注意すること。

④インストルメントパネルにメータフードを仮置きし、マーキングする。



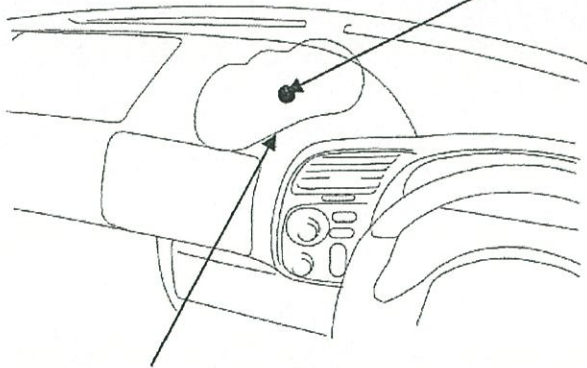
⑤ インストルメントパネルのメータフードで隠れる位置にメータハーネスを通す穴をφ12にて開ける。

※穴開けの際は、インストルメントパネル裏面に何も無いことを確認すること。

※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しずつ穴径を大きくすること。

※バリの処理を行うこと。

メータフード取り付け時に隠れる位置にφ12にて穴を開けること



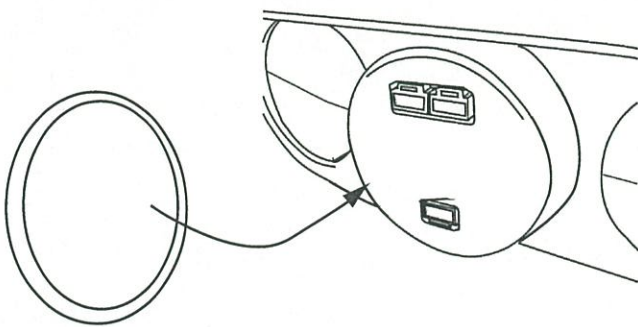
メータフードマーキングライン

⑥ メータハーネス (2.0m) を⑤にて開けた穴に上から入れる。

※メータハーネスは、200mm程度上に出してビニールテープで固定しておく。

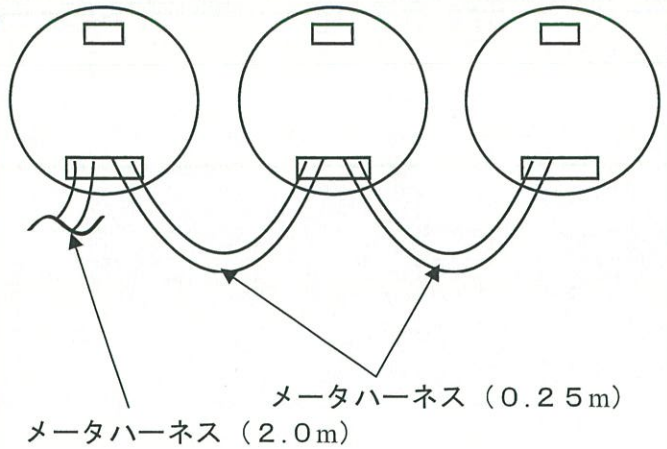
⑦ メータフードにメータを挿入し、裏側からリングラバーを入れてメータフードとメータを固定する。

※リングラバーのゴム端厚さが厚い方がメータフードと接触するよう取り付けすること。



⑧ ⑥にて出しておいたメータハーネス (2.0m) をメータに接続し、メータハーネス (0.25m) にて残りのメータ間を接続する。

メータ裏面



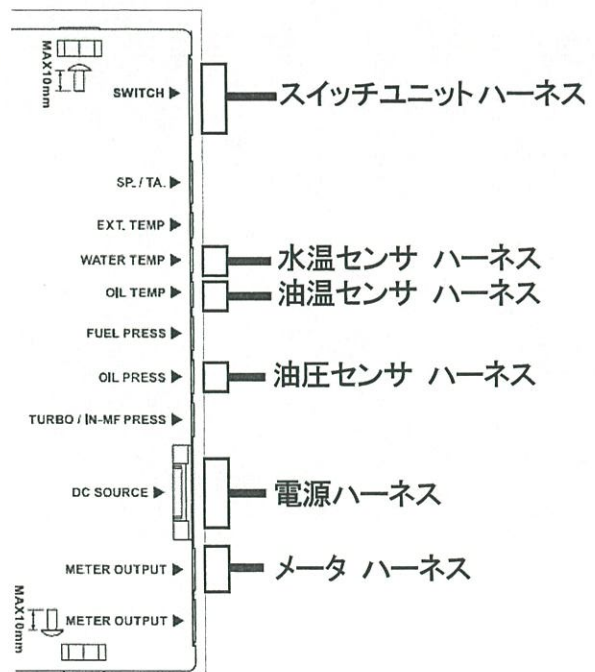
⑨ 両面テープ I でメータフードをインストルメントパネルに④にてマーキングした位置に固定する。

※両面テープの貼付け面は、イソプロピルアルコール等にて油分・汚れ等をきれいに拭き取っておくこと。

※気温が10℃以下の場合には両面テープを暖めてから使用すること。

⑩ センサハーネス、メータハーネス (2.0m)、電源ハーネスを下図に従ってコントロールユニットに接続する。

コントロールユニット

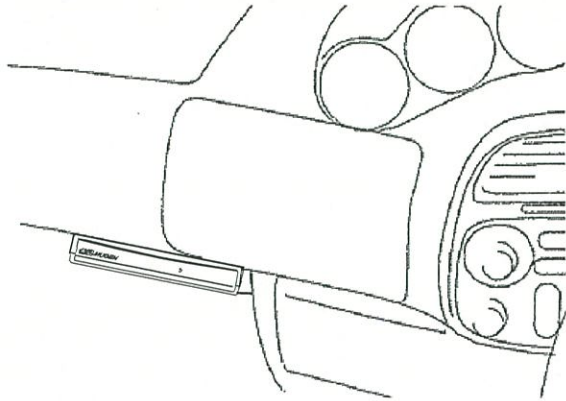


※ハーネスはノイズなどの障害を発生させないように取り回すこと。

- ※ハーネスがブレーキペダル、アクセルペダルに接触しないように取り回すこと。
- ※余ったハーネスを束ね、タイラップで固定すること。
- ※コントロールユニットのカプラ指示に従い、接続すること。

- ⑪コントロールユニットを下図のようにセンターコンソールよりの助手席側インストルメントパネル下平面部に両面テープⅡにて取り付ける。

コントロールユニット取り付け完成図(推奨位置)



- ※両面テープの貼付け面はイソプロピルアルコール等にて油分・汚れ等をきれいに拭き取っておくこと。
 - ※気温が10℃以下の場合には両面テープを暖めてから使用すること。
 - ※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。
 - ※貼り付けを行うとコントロールユニットのディップスイッチ操作が行えなくなる為、P11, P12およびP14を参照の上、あらかじめ設定を行うこと。
- ⑫スイッチユニットを任意の位置に両面テープを用いて貼り付ける。
- ※ハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取り付けること。
 - ※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

- ⑬オーディオ、ラジオパネルを元に戻す。

- ⑭ジャッキアップを降ろす。

- ⑮バッテリーのマイナス端子を接続する。

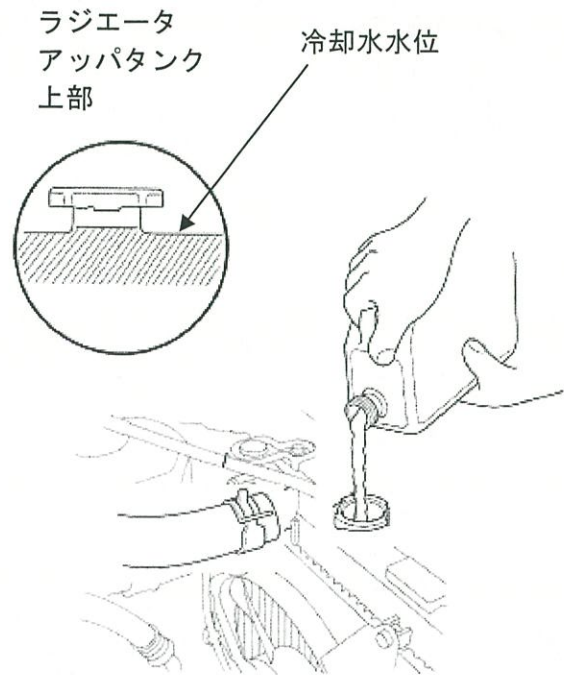
- ⑯エンジンオイルの量を点検し、必要ならば補充する。

- ⑰冷却水を入れ、エア抜きを行う。

- ⑱エンジンオイル・冷却水の漏れがないか点検する。

【エア抜き方法】

- ①ドレンコックが閉まっているか確認する。
- ②ラジエータキャップを外し、冷却水をラジエータアッパタンクまで補充する。



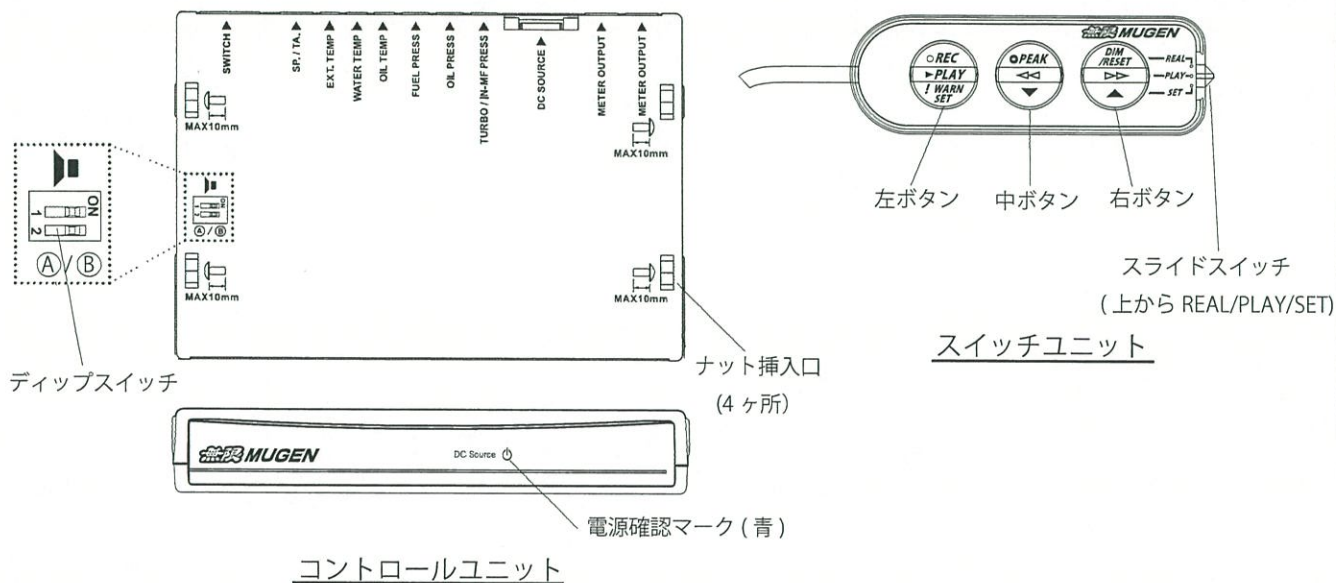
- ③ラジエータキャップを仮締めし、エンジンを規定のアイドリング回転数より若干高目(約1,500rpm)にし、ラジエータファンが2回作動するまで暖機する。
 - ④エンジンを停止し、再度アッパタンク上部まで冷却水を補充し、同時にリザーバタンクの上限(MAX)まで補充する。
 - ⑤再度エンジンを始動し、約1,500rpmで液面が下がらないことを確認し、ラジエータキャップを取り付ける。
- ※液面が下がる場合、更に冷却水を補充する。

VI. 操作方法

操作方法の説明では、ボタンの押し方が「押す」方法と「長押し」方法の2種類出てきます。「押す」の場合は1秒未満ボタンを押してください。「長押し」の場合は1秒以上ボタンを押してください。

1. 各部名称と動作確認および設定

1-1. コントロールユニット&スイッチユニットの各部名称



1-2. 動作確認・設定

1. イグニッションをONし、コントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。
2. オープニングモードが行われることを確認してください。

※2. オープニング・エンディングモード参照

3. メーターにオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。

※3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示参照

エラー表示が出ている場合

→イグニッションを一旦OFFにし、エラー表示が出ているセンサー及びセンサーハーネスをご確認ください。

4. 各メーターのワーニング値と各メーターの照明色を設定してください。

※4-3. 照明色の変更参照

5. メーターが正常に動作することを確認してください。確認ができれば設定は終わりです。

警告 設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

2. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとメーターがオープニングモードを行います。また、全ての状態において、イグニッションを OFF するとメーターがエンディングモードを行い、モード終了後にコントロールユニットとメーターの電源が切れます。

※設定の途中で OFF にすると設定内容は保存されません。

※電源ハーネスが正常に配線されている場合、オープニングモード開始時からコントロールユニットの電源確認マークが青く点灯します。点灯していない場合や点滅している場合はイグニッションを一旦 OFF にし、配線を確認ください。

2-1. オープニング・エンディングモードの変更

コントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切替用のディップスイッチ 2 をスライドさせることで、オープニング / エンディングモードを A タイプと B タイプの 2 種類から選ぶことができます。

※モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。全てのメーターのモードが切り替わります。

※外光の明るさによっては照明が点灯していることがわかりづらい場合があります。

3. リアルモード（スライドスイッチ位置：REAL）

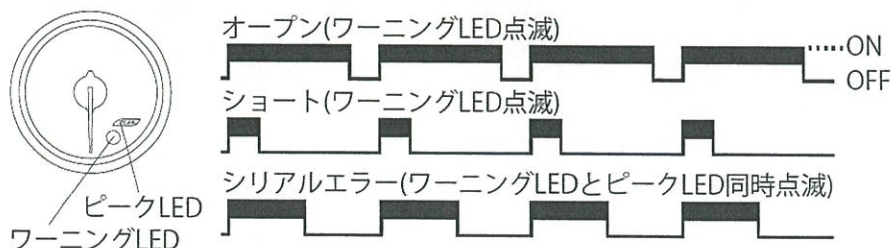
オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

3-1. ワーニング

設定したワーニング値以上で当該メーター内のワーニング LED が点灯します。

3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示

センサーがオープン、またはショートしている場合は当該メーターのワーニング LED が点滅します。一度、オープンかショートのエラー表示が出ると、イグニッションを OFF にするまで点滅が続きます。油圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。また、メーターとコントロールユニット間で通信ができなくなった場合は、シリアル通信エラーが表示され、ワーニングとピーク LED が同時に点滅します。



※エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサーや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付け店に検査を依頼してください。

3-3. 照明

車両のイルミスイッチに連動して点灯 / 消灯します。また、REAL モード・REC モード・PLAY モード中に右ボタンを数回押すと、車両のイルミ ON 時に照明を消すことができます。5 回中 1 回消灯します。(イルミキャンセル)

4. 設定モード (スライドスイッチ位置 : SET)

任意のワーニング値を設定することで、その値以上になったとき (油圧の場合はその値以下になったとき) に当該メーター内のワーニング LED が点灯します。また、各メーターの照明色を変更することができます。

○ワーニング初期位置一覧

| メータ | ワーニング初期値 | 単位 | 設定範囲 | | 点灯条件 |
|-----|----------|-----|------|------|-------|
| | | | 最小値 | 最大値 | |
| 油圧 | 120 | kPa | 0 | 1000 | 設定値以下 |
| 油温 | 125 | °C | 50 | 150 | 設定値以上 |
| 水温 | 105 | °C | 20 | 120 | 設定値以上 |

※車の種類やコンディションによってはワーニング初期値以下 (油圧は初期値以上) でも車両にダメージが加わる場合がありますので、販売店または取り付け店に相談し、設定値を検討してください。

4-1. ワーニング値の設定

1. スライドスイッチを SET に合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. 左ボタンを押して設定するメータを選択します。

| 選択メータ | 未選択メータ |
|--|--|
| ワーニングLED 点滅 文字板照明高輝度点灯 (車両イルミON 時) | ワーニングLED 消灯 文字板照明低輝度点灯 (車両イルミON 時) |

※接続されていないメータは選択されません。選択される順番は以下の通りです。

油圧→油温→水温 (3 連メータ)

4. 設定したいメータが選択された状態で、中ボタンを押すと設定値が下がり、右ボタンを押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が早く変わります。
5. スライドスイッチを REAL または PLAY に戻してください。

4-2. ワーニングブザーON/OFF の変更

コントロールユニットに付いているディップスイッチ1：ブザーのON/OFF 切替スイッチをスライドさせることでワーニング発生時のブザーのON/OFF を設定することができます。スイッチ操作音はOFF できません。

※ON/OFFの変更はIGN OFF 時に行ってください。

4-3. メータ照明色の変更

1. スライドスイッチをSETに合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. 左ボタンを押して設定するメーターを選択します。
4. 照明色を変更したいメーターが選択された状態で、中ボタンと右ボタンを同時に押すと照明色が変わります。（車両のイルミスイッチをON にしてください。）
ブルー ⇄ アンバーレッド（初期設定：ブルー）
5. スライドスイッチをREALまたはPLAYに戻してください。

5. リアルピークモード（スライドスイッチ位置： REAL）

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリアルモード中に表示するモードです。油圧は最大値と最小値を切替表示し、リセットするとその時点からのピーク値を表示します。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモード（ハイピーク）に移行し、全てのメーターが最大値を表示します。リアルピークモード（ハイピーク）中はピークLED が点灯します。
3. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとリアルピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計および燃圧計は最小値、それ以外のメーターは最大値を表示します。リアルピークモード（ローピーク）中はピークLEDが点灯します。
4. 中ボタンを押すとリアルモードに戻ります。

6. リアルピークリセットモード（スライドスイッチ位置： REAL）

それまでの走行・アイドリング時の最大値（油圧は最大値と最小値）をリセットするモードです。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピークLED が点灯します。
3. リアルピークモード中に右ボタンを押すと、ピークLED が点滅しピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

7. レックモード（スライドスイッチ位置：REAL）

各メーターの走行データを最大3分間記録するモードです。レックモード中はイルミキャンセルが可能です。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 左ボタンを押すとレックモードに移行し、記録を開始します。レックモード中はピークLED が点滅します。
3. 左ボタンを押すと記録を終了し、リアルモードに戻ります。または記録開始から3分経過するとリアルモードに戻ります。

8. レックピークモード（スライドスイッチ位置： REAL）

記録を開始した時点からの最大値をレック中に表示するモードです。油圧は最大値と最小値を切替表示します。

1. レックモード中に中ボタンを押すとレックピークモード（ハイピーク）に移行し、全てのメーターが最大値を表示します。レックピークモード（ハイピーク）中はピークLED が点灯します。
2. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとレックピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計は最小値、それ以外のメーターは最大値を表示します。レックピークモード（ローピーク）中はピークLEDが点灯します。
3. 中ボタンを押すとレックモードに戻ります。また、左ボタンを押すとリアルモードに戻ります。記録開始から3分経過するとリアルモードに戻ります。

9. プレイモード（スライドスイッチ位置：PLAY）

記録されているデータを再生するモードです。一時停止、コマ送り、早送り、巻き戻し等も可能です。プレイモード中はイルミキャンセルが可能です。

※3-3. 照明参照（イルミキャンセル）

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、記録されているデータを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中に左ボタンを押すと再生を終了し、リアルモードに戻ります。または記録データが終了するとリアルモードに戻ります。

9-1. 再生中の操作

- ・再生中に中ボタンまたは右ボタンを押すと一時停止します。
- ・一時停止中に右ボタンを押すとコマ送り、右ボタンを長押しすると早送りになります。
- ・一時停止中に中ボタンを押すとコマ戻し、中ボタンを長押しすると巻き戻しになります。
- ・一時停止中に左ボタンを押すと再生に戻ります。

10. プレイピークモード（スライドスイッチ：PLAY）

レック中に記録されたデータの中の最大値をプレイ中に表示するモードです。

油圧は最大値と最小値を切替表示します。プレイピークモード中もデータ再生は進みます。

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、データを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中にスライドスイッチをREALに合わせます。（一時停止中でも可）
4. 中ボタンを押すとプレイピークモード（ハイピーク）に移行し、記録データ中の最大値を表示します。
5. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとプレイピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計は記録データ中の最小値、それ以外は最大値を表示します。
6. 中ボタンを押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチをPLAYに合わせ、左ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

リアルピーク・レックピーク・プレイピークの違い

| | リアルピーク | レックピーク | プレイピーク |
|----------|---------------|-----------------------|--------|
| 表示されるモード | リアルモード | レックモード | プレイモード |
| 表示値 | 全モードのピーク値 | レックモードで記録されたデータ中のピーク値 | |
| ピーク値の更新 | 全モード中 | レックモード中 | |
| ピークリセット | リアルピークモード中に操作 | レック開始時にオートリセットされる | |